

別紙2 参考様式

現在の人・農地プランの区域の全部又は一部の区域であって既に実質化していると判断する地区

対象地区名	範囲	区域内農地面積(ha)	近い将来の農地の受け手①		近い将来の農地の出し手②		①及び②の面積合計(ha)	備考
			中心経営体数	現状の経営面積合計(ha)	農業者数	貸付等予定面積合計(ha)		
天王地域	塩口	146	13	133.1			133.1	
	中羽立	46	4	27.0			27.0	
	渋谷	58	4	54.5			54.5	
	羽立	297	31	274.7			274.7	
	天王・ハラヘ・一向・曲町・御休下	125	10	113.3			113.3	
	江川	135	12	128.4			128.4	
	児玉	86	8	75.4			75.4	
	大崎	179	17	167.6			167.6	
天王地域	二田・鶴沼台	193	19	187.3			187.3	
	上出戸・三軒屋	68	3	10.5			10.5	
	細谷	30	2	16.2			16.2	
	上出戸・三軒屋	60	5	52.4			52.4	
昭和地域	大久保	487	48	301.8			301.8	
	乱橋・八丁目	94	6	83.6			83.6	
	豊川	308	14	195.3			195.3	
飯田川地域	羽立1・羽立2・羽立3・神明上・神明下・中町1・中町2・土手1・土手2・八ツ口・旭町・寺の下・岩崎・山根・高田・和田・柳田・矢坂・妹川浜・釜山・宮下・新道上・新道下・飯塚上・駅前・飯塚下・飯塚浜上・飯塚浜下	699	25	447.1			447.1	

注1:1集落1農場を実現しているような区域においては、区域の受け手の事業が将来にわたって安定的に継続される見込みを後継者の確保状況等により確認し、確認した旨を「備考」欄に記載します。

注2:「範囲」を集落名等により特定できない場合には、地図等を用いて特定することができます。

注3:「近い将来の農地の受け手」の「現状の経営面積合計(ha)」には、対象地区内における中心経営体の現状の経営面積の合計を記載してください。